

## 式辞

穏やかな春の陽気のもと、令和最初の入学式を挙行できますことを大変嬉しく思います。伝統ある浮羽中学校へ入学してこられた百十七名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

コロナウイルス感染症拡大の影響で、学校再開がままならない状況にあります。

このような状況の中、みなさんの協力を得てスタートします。皆さん一人一人が「今、何をすべきか」をじっくりと考え行動する良い機会と捉えてください。保護者の皆様には、本日入学した新入生たちが三年後には、それぞれの夢や目標に向かって大きく羽ばたいていけるよう、ご支援・ご協力のほどお願いします。

さて皆さん、今日から中学生として学校生活が始まります。人間の一生の中でも中学時代は、体も心も大きく成長する

時です。この時期に様々なことにチャレンジし、失敗も含め、多くの体験を積み重ねていくことが、心の成長や感性を高めていくことにつながります。

そのためにも、これからの中学校生活で大切にしてほしいことを二つお話しします。一つ目は「夢や志を持ち、その実現に向けて努力する」ということです。皆さんはこれから多くの事に挑戦し、数多くの壁を乗り越えれると思います。しかし、中には上手くいかず、立ち止まることもあります。自分のしたいことが何もかも成功するとは限りません。中学生活で困難を乗り越える時、挫折しそうになる時、夢や志をもち続けてください。そして自分のできる限りの努力を積み重ね、前に向かって進んでください。その行動力が十年後、二十年後の自分につながります。

二つ目は「友だちそして授業を大切にす  
る」ということです。まず「相手の立場に立っ  
て考え、行動できる人」になつてほしいと思  
います。常に「思いやり」の心を持ち続けて  
ください。友だちのために、どれだけ心と時  
間を使ってあげられるか、挑戦してほしい  
と思います。次に一時間一時間の授業を  
どこまで大切にできるかが重要です。

皆さんはこれから卒業するまでに、約三千  
時間を越える授業を受けます。毎日の授  
業をおろそかにせず、たとえ微力であつて  
も根気強く続けることこそ、成功の元にな  
ることを忘れないでほしいと思います。

ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さん  
は「ムダなことをたくさんしないと、新しい  
ことは生まれてこない」と言いました。ぜ  
ひ、今日から三年間、何事にも興味・関心  
を持ち、失敗を恐れずに挑戦してください  
い。自らの可能性を広げ、「夢の実現」に

近づいていきましたよう。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日ここに、かけがえのないお子様を確かにお預かりいたしました。私も最後の一年になります。教職員と共に、お子様が立派な社会人へと成長するために、愛情深く、誠心誠意、努力をいたす決意を新たにしております。何とぞ、保護者の皆様も、子どもたちの豊かな成長のために、御協力、御支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。それでは、新入生の3年間が夢と希望に満ち、楽しく活気ある充実の3年間になるよう、共にがんばっていくことをお誓いして、式辞とします。

令和二年 四月十日

うきは市立浮羽中学校 校長 高倉満